

航空機着陸誘導システムに関する実験試験局

免許人：

無線設備製造事業者

実験・試験の目的：

航空機着陸誘導システムである地上型衛星航法補強システム（GBAS）を国内の空港及び航空機に導入するにあたって、GBAS と隣接する周波数帯を使用する V-low マルチメディア放送と GBAS との共用条件、無線設備の技術的条件、無線設備の性能を検証するため、空港敷地内に GBAS 装置を設置して実験・試験をおこなうもの。

周波数帯、帯域幅、出力等：

周波数帯：VHF 帯

帯域幅：16.8kHz

出力：80W

実験試験局の電波利用範囲等：

羽田空港及びその周辺

実験・試験の概要

- 1 羽田空港内に設置した GBAS 地上設備（図 1）を用いて電波伝搬試験を実施。
- 2 既存の GBAS 受信機を搭載した試験用機体（図 2）を用いて、羽田空港周辺の GBAS 信号の受信状況調査を実施。
- 3 既存の GBAS 受信機を搭載した試験用機体を用いて、羽田空港内の滑走路及びその周辺の空域を飛行し、GBAS 信号と GBAS の隣接周波数を使用する V-Low マルチメディア放送の信号の干渉状況調査並びに GBAS 信号と FM 補完放送の干渉状況調査を実施。

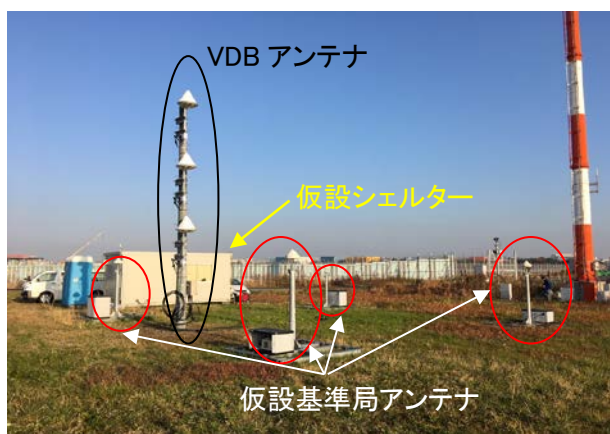


図1 GBAS 地上装置の設置状況



図2 試験用航空機

実験試験局実施による成果やその後の状況（又は今後の計画）：

GBAS 地上装置と V-Low マルチメディア放送の干渉については、V-Low マルチメディア放送を受信したところ、音切れもなく、正常に受信できたことから、GBAS から V-low マルチメディア放送への与干渉は起きていないことが確認できた。

GBAS の受信状況調査は、当初の想定通りの結果が確認できた。

現在は、V-low マルチメディア放送からの被干渉について検討を進めており、その検討結果を踏まえながら国内の空港及び航空機に導入に向けて技術的条件を策定することとしている。